

議員のQ

市のA & 質問



質問

一般質問とは？

市の行う一般事務について議員が質問します。皆さんの生活にかかる大切な質問です。あなたが関心をもつた質問はありますか？

質問議員 21名 質問 48項目

※各議員の質問中、一問のみを掲載しています。
質問・答弁要旨は質問した議員が書いたもの
です。
その他の質問については、会議録・廿日市市
議会ホームページをご覧いただけます。

選挙公報周知で
投票率向上を



林 忠正議員

実効性のある地方
創生実現のために



松本 太郎議員

A

Q 今回の市議会議員選挙は投票率が50%台を割り込んだ。期日前投票は大幅に増加したので、ゆめタウンへの期日前投票所設置は効果があつたが選挙公報が地域によっては新聞折込みなので、全家庭に配付されず、候補者の政策が充分周知されなかつたことも要因として考えられるがどうか。選挙公報が新聞折込みの地域については、購読されていな方のために、希望者への郵送や、市民センターへの備え付けにより補完するとともにホームページにも掲載した。告示前に回覧で投票を呼びかけ、選挙公報が市民センターに備え付けてあることの周知や、SNS活用で選挙公報閲覧などの仕掛けが必要。前向きに検討する。

その他の質問

・地域包括ケアシステム構築の進捗状況について
・地域医療拠点構想について

・地方創生を成し遂げることはできのか
・地方創生の本質について
・市民が求めるこれから行政の在り方について

その他の質問

小中学校教員の
負担軽減について



大崎 勇一議員

A

Q 4月末に文科省が公立小中学校教員の勤務実態調査の速報値を発表。先生方の労働時間がいかに長いかを再認識した。価値の高い場所には、容積率や用途規制を緩和し、開発事業者の開発意欲を喚起することができると考えるが、大胆な土地利用規制緩和について見解を問う。

A 鉄道駅の徒歩圏内や道路など基盤整備が整った地域のうち、利便性の高い地域については、土地の有効利用を促していく必要があると考える。

Q ①昨年9月、自主財源の確保策として、ふるさと納税の促進に向けて返礼品充実など大幅なりニューアルが行われたことから、その成果を問う。現在、国を挙げて「働き方改革」を進めているが、学校において、これは急務だと思う。県教委が県立高校に週1日定期退校日を設けるよう通知している。本市の小中学校において、これは急務だと思う。そこで、私は、この問題について取り組みを、積極的に進めたい。 知している。

A 本市の小学校の6割、中学校の5割が一斎退校日を設定しているが、必ずしも徹底できていない状況があることは承認している。

Q ①昨年9月、自主財源の確保策として、ふるさと納税の促進に向けて返礼品充実など大幅なりニューアルが行われたことから、その成果を問う。現在、国を挙げて「働き方改革」を進めているが、学校において、これは急務だと思う。県教委が県立高校に週1日定期退校日を設けるよう通知している。本市の小中学校において、これは急務だと思う。そこで、私は、この問題について取り組みを、積極的に進めたい。

A 校長会と連携し、学校の二つの5割が一斎退校日を設定して働くことができる具体的な取り組みを、積極的に進めたい。

共感者を募り宮島
文化施設の再生を



広畠 裕一郎議員

A

Q 今年の市議会議員選挙は投票率が50%台を割り込んだ。期日前投票は大幅に増加したので、ゆめタウンへの期日前投票所設置は効果があつたが選挙公報が地域によっては新聞折込みなので、全家庭に配付されず、候補者の政策が充分周知されなかつたことも要因として考えられるがどうか。選挙公報が新聞折込みの地域については、購読されていな方のために、希望者への郵送や、市民センターへの備え付けにより補完するとともにホームページにも掲載した。告示前に回覧で投票を呼びかけ、選挙公報が市民センターに備え付けてあることの周知や、SNS活用で選挙公報閲覧などの仕掛けが必要。前向きに検討する。

その他の質問

・地域包括ケアシステム構築の進捗状況について
・地域医療拠点構想について

その他の質問

・高齢者の在宅介護について
・公共施設マネジメント基本方針について
・安心して子育てできる環境整備について

Q 総合戦略の人口減少問題について



小泉 敏信議員

Q 新機能都市開発構想は、市が土地区画整理組合を設立し、民間事業者に事業を委ねる業務代行で行なうことが決定した。事業費が最大約200億円ともされる大型の山林開発事業が、本当に必要なのか。開発用地は売却できるのか。加えて、市の財政は、経常収支比率約97%と最悪の状況が長く続いているのか。

Q 厳しい財政のなか大型開発に疑問



藤田 俊雄議員

A 若い世代が安心して、子育ての夢と希望を叶えられるまちを目指して、子育て支援事業計画に基づき、保育の受け入れ人数の拡大や留守家庭児童会の対象年齢の拡大、利用時間の延長など、保育の量と質を向上に取り組んでいる。また、民間保育園への整備補助や池田保育園の建て替え工事、地御前児童会の改修を行っているところである。

その他の質問

・姉妹提携20周年記念マスターントン訪問と米軍岩国基地の騒音対策について
・教職員の多忙解消と「山・海・島」の体験学習について

A 土地区画整理組合を設立し、民間事業者に事業を委ねる業務代行で行なうことが決定した。事業費が最大約200億円ともされる大型の山林開発事業が、本当に必要なのか。開発用地は売却できるのか。加えて、市の財政は、経常収支比率約97%と最悪の状況が長く続いているのか。

Q 新機能都市開発構想は、市が土地区画整理組合を設立し、民間事業者に事業を委ねる業務代行で行なうことが決定した。事業費が最大約200億円ともされる大型の山林開発事業が、本当に必要なのか。開発用地は売却できるのか。加えて、市の財政は、経常収支比率約97%と最悪の状況が長く続いているのか。

東京五輪の事前 合宿地誘致について



中島 康二議員

Q

2020年東京五輪のメキシコ選手団の事前合宿地に、広島県等とメキシコオリンピック委員会は基本協定を結んだ。本市は7種目にエントリーリーしているが、支援体制や交流事業、そして事前合宿地誘致の効果等について問う。

メキシコオリンピック委員会の役員は、本市のスポーツセントーを視察し、施設に満足できる評価をするとともに、誘致に好感触を得ている。

**就学援助
入学前に支給を**

**見通しが甘い
新機能都市開発構想**



**住宅整備基本計画の
進捗と課題を問う**



**緊急情報の
連絡体制について**

**Q**

文部科学省は「要保護児童生徒援助費補助金要綱」を29年3月31日付で改正し、支給対象者に、これまでの児童生徒から新たに就学予定者を加えた。この改正に合わせ30年度から、その予算措置を行うとの通知がなされたが、就学援助における、本市の入学前支給について問う。

A

本市においては、児童生徒が入学後に使用する副教材費等や学校給食費などに併せて入学後に支給。入学前に支給するには、他市町へ転出する場合の対応や、就学予定者の世帯の所得状況の把握など、克服すべき課題がある。今後、他市町の動向も注視し、課題解決に向けて検討していく。

Q

市は、土地区画整理事業で整備を行い、民間事業者に業務代行させる方針である。民間事業者が保留地処分金を担保に資金調達するので、市の負担は14億3千万円で済むという。しかし、この数字には造成地が売れなかつた時のリスクや企業誘致に際する多額の助成金が試算に入れられていないがどうか。

A

業務代行方式であり、民間事業者の業務に企業誘致も含まれる。民間事業者は企業誘致を行い、保留地を売つて費用を賄う。立て替えた費用の責任は民間事業者が負う。企業誘致は民間事業者に課題となるが、現段階ではどのようになるか分からぬ。そのため試算に入れていない。

Q

上での問題点と課題を問う。高齢者に対する支援における課題としては、高齢者が安全に暮らすことが出来る住宅を供給することがあげられる。このため、手すり設置やトイレの洋式化等の改善、75歳以上の希望者に対しては、安否確認を行っている。また、子育て世代に対しては、安否確認を行っている。公営住宅は、このため試算に入れていない。

A

本計画に、市営住宅等の効果的運用として、高齢者の支援と子育て世代の居住の支援とあるが、それを遂行していく。高齢者に対する支援における課題としては、高齢者が安全に暮らすことが出来る住宅を供給することがあげられる。このため、手すり設置やトイレの洋式化等の改善、75歳以上の希望者に対しては、安否確認を行っている。また、子育て世代に対しては、安否確認を行っている。公営住宅は、このため試算に入れていない。

Q

阿品台地域でツキノワグマ目撃情報が相次いだが、市役所内でも情報の共有ができるようになった。住民の生命にかかる事案なのに、住民への情報提供も10日後と遅かった。再度、野生生物の目撃情報が入った時、速やかに住民への情報提供ができる、管理体制を整えるべきではないか。

A

野良犬の可能性があるとの情報があつたため、様子を見る判断をしたことで、情報提供が遅れた。今回の事案で危機管理意識が欠如していることが分かった。関係部署において、マニュアルを再点検し、府内、関係部署、市民への速やかな情報提供を徹底する。

A Q A**Q A Q****Q**

定住推進施策で、市の魅力発信を目的に「シティプロモーション室」が設置された。戦略的趣旨的に沿った4つの目標での取り組みを問う。本市では、「選ばれ・選ばれ続けるまち」を目指して、移住・定住の機会である就職、住宅購入、子育てなどを意識して取り組み、具体的には、首都圏での「廿日市まるしえ」や広島都市圏では、ラッピング電車やモニターツアー、市民のシック・プライド醸成で、学校と連携し、ふるさと学習の推進に取り組んだ。

2年の成果と課題について認識してオール廿日市で人口の社会増を維持したい。

宮島を後世に残すための財源として、法定外目的税の導入を以前から聞いていますが、その後どうなったのか。また導入をしないとした別財源をどのように考えているのかを問う。

宮島を後世に残すための財源として、法定外目的税の導入を以前から聞いていますが、その後どうなったのか。また導入をしないとした別財源をどのように考えているのかを問う。

Q

本市としても貴重な「宮島の自然・歴史・文化を守り、次世代に継承していく」とことや、「観光地としての質的向上を図る」ための安定的な財源は必要であるという認識に変わりはなく、今後も引き続き導入について慎重に検討をしていくとともに、他の自治体の取り組みを研究するなど、宮島の優れた資源を生かしながらも高い評価を得ている「ちょうどいい」ことを再認識してオール廿日市で人口の社会増を維持したい。

Q

議会で2件の請願が採択されその後の対応と進め方について、混乱を招いている。保護者の理解は得られたのか。また導入をしないとした別財源をどのように考えているのかを問う。

Q

本市では全ての認可保育園の新聞やテレビで報道されている。本市の認可した民間保育園での保育士の離職について、聞くが、民営で絶対大丈夫と言えるのか。

Q

民間の保育園運営で問題次々のようになっていると答弁しているがどうのよう決めている。

Q

本市では全員の認可保育園の保育士は確保されている。保育園の耐震化は効果的に進めていると答弁しているがどうのよう決めている。

Q

串戸保育園は40年以上経過しリニューアルも行っていない。耐震化そのものは老朽化対策とならないので建て替えが効果的と考える。

Q

<